

演習問題

※症例3、症例4は、多重がん判定も行ってください。

採用したルール(肺 等)、判定決定したルール(M●)、
判定結果(単発 or 多重)を回答欄に記載してください。

※登録対象になる症例に対して、各項目の登録内容を
回答用紙に記載してください。

<症例 1> 60 歳 男性

【現病歴】

2022 年 1 月中旬、人間ドックで胸部異常陰影を指摘され、A 病院を精査のため、受診。

A 病院にて 3 月 3 日に胸部 CT を施行され、「がんの疑い」で手術を勧められたが、家族の希望もあり、3 月 15 日当院へ紹介となった。

【経 過】

2022 年 3 月 15 日 当院初診。

2022 年 3 月 23 日 胸部 CT 施行。

右 S4 に充実成分径 35mm の辺縁が不整な腫瘤を認める。

右 S9 にも小さな高濃度結節を認めたが、腫瘍とは断定できなかった。

肺内・肺門リンパ節に腫大を認め、リンパ節転移と考える。胸水（一）

2022 年 4 月 1 日 気管支鏡下で、B4 を閉塞する腫瘤を認め、TBLB および擦過・洗浄細胞診施行。

2022 年 4 月 8 日 TBLB の結果「adenocarcinoma」、擦過細胞診も同様の所見であったため、

肺腺癌と診断。リンパ節転移もあり、手術適応と考えられた。

肺癌の診断で、手術適応である旨、本人と家族に説明。

2022 年 4 月 25 日 手術目的で入院。

2022 年 4 月 26 日 右中下葉切除術施行。

2022 年 5 月 10 日 経過良好にて退院。

《病理報告》

Moderately differentiated adenocarcinoma、right middle lobe of lung。

腫瘍は S4 に存在し、大きさは 50×35mm（浸潤径 35×25mm）。腺癌細胞が管状～篩状、一部で小胞巣状に浸潤性増殖している。低分化な腫瘍成分も一部に認められ、中分化型腺癌と診断した。

S9 内に 8mm 程の腫瘍があり、肺内転移と考える。中下葉間胸膜への浸潤を認める。

EGFR 変異を認めた。断端陰性。

郭清リンパ節 5/13（#10 1/3、#11 1/3、#12 2/4、#13 1/3）

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 2> 62 歳 男性

【現病歴】

2022 年 2 月下旬、A 市において行われた健康診断で胸部異常陰影を指摘され、精査目的に 4 月 5 日 B 病院受診。

B 病院にて 4 月 11 日に胸部 CT を施行。「肺腺癌の疑い」で手術を勧められたが、家族の希望もあり、4 月 20 日当院へセカンドオピニオン目的に来院した。

【経 過】

- 2022 年 4 月 20 日 当院セカンドオピニオン受診。
B 病院の CT 所見より、手術が適切である旨を説明。
本人・家族の希望により、今後は自施設で治療を行うこととなった。
- 2022 年 4 月 27 日 胸部 CT 施行。
左 S6 に最大径 30mm の pure-GGN を認める。
リンパ節腫大なし、胸水（－）
- 2022 年 5 月 9 日 TBLB および擦過・洗浄細胞診施行。
- 2022 年 5 月 17 日 TBLB 結果「悪性所見なし」。擦過細胞診結果「adenocarcinoma」。
諸検査結果から、肺腺癌と診断。転移などもなく、手術適応と考えられた。
肺癌の診断で、手術適応である旨、本人と家族に説明。
- 2022 年 6 月 1 日 手術目的で入院。
- 2022 年 6 月 2 日 左下葉切除術施行。
- 2022 年 6 月 13 日 経過良好にて 退院。

《手術 病理報告》

Minimally invasive adenocarcinoma, non-mucinous, left lower lobe of lung

腫瘍は S6b 末梢に存在し、腫瘍径 25×20×20mm、浸潤径 2mm。肺胞上皮が異型のある細気管支上皮様細胞に置換されており、核の大小不同、細胞密度も高いことから、微少浸潤性腺癌と診断した。断端陰性。

郭清リンパ節:0/4(#12 0/2、#13 0/2)

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 3> 65 歳 女性

【現病歴】

2022 年 1 月住民健診で異常陰影を指摘され、精査目的に 2022 年 2 月 21 日自施設紹介受診。

【経 過】

2022 年 2 月 21 日 当院初回初診。

2022 年 3 月 2 日 胸部 CT 施行。

右 S5 に充実成分径 30mm の腫瘤を認める。S8 にも充実成分径 20mm の腫瘤を認めた。肺門リンパ節に転移と考える腫大を認める。胸水（－）

2022 年 3 月 10 日 CT 所見から、肺内転移を伴う右中葉肺腺癌と診断。手術適応であり、リンパ節転移を認めることから、術後化学療法を行う旨、本人と家族に説明。

2022 年 3 月 30 日 手術目的で入院。

2022 年 3 月 31 日 右中下葉切除術施行。

2022 年 4 月 11 日 化学療法開始。

2022 年 4 月 19 日 経過良好にて退院。今後は外来で化学療法継続。

《手術 病理報告》

Acinar adenocarcinoma, right middle lobe of lung

Solid adenocarcinoma, right lower lobe of lung

中葉の腫瘍は、腫瘍径 40×30×25mm、浸潤径 30mm。膠原線維の増生を伴い、円形から楕円形の腺管構造がみられる。

下葉の腫瘍は、腫瘍径 30×25×20mm、浸潤径 22mm。多角形の腫瘍細胞がシート状に増殖している。

TTF-1、napsin A 陽性で、充実性腺癌と診断。

郭清リンパ節は中葉と同様の所見が見られ、Acinar adenocarcinoma の転移と判断した。

断端陰性。

郭清リンパ節:3/12(#10 1/3、#11 1/3、#12 0/3、#13 1/3)

症例番号

採用ルール		多重がん判定	
【699】腫瘍情報テキストへのコメント			
110 重複番号		700 外科的治療	
140 性別		701 外科的治療 施行日	
300 原発部位 《局在コード》		705 外科的治療 (開始前・他施設)	
309 原発部位 《テキスト》		706 外科的治療 (開始後・他施設)	
310 側性		710 鏡視下治療	
320 病理診断 《形態コード》		711 鏡視下治療 施行日	
329 病理診断 《テキスト》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	
		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	
		720 内視鏡的治療	
330 診断根拠		721 内視鏡的治療 施行日	
350 当該腫瘍初診日		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
360 他施設診断日		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	
370 自施設診断日		730 観血的治療範囲	
380 診断日		740 放射線療法	
400 診断施設		741 放射線療法 施行日	
410 治療施設		745 放射線療法 (開始前・他施設)	
420 症例区分		746 放射線療法 (開始後・他施設)	
450 来院経路		750 化学療法	
460 発見経緯		751 化学療法 施行日	
470 病名告知の有無		755 化学療法 (開始前・他施設)	
		756 化学療法 (開始後・他施設)	
		760 内分泌療法	
		761 内分泌療法 施行日	
		765 内分泌療法 (開始前・他施設)	
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)	
		770 その他の治療	
		775 その他の治療 (開始前・他施設)	
		776 その他の治療 (開始後・他施設)	
		780 経過観察選択	
		790 緩和的治療	
		510 UICC cT	
		520 UICC cN	
		530 UICC cM	
		540 UICC c 付加因子	
		500 UICC c ステージ	
		550 規約肝 c ステージ	
		610 UICC pT	
		620 UICC pN	
		630 UICC pM	
		640 UICC p 付加因子	
		600 UICC p ステージ	
		580 c 進展度	
		680 p 進展度	

症例番号

採用ルール		多重がん判定	
【699】腫瘍情報テキストへのコメント			
110 重複番号		700 外科的治療	
140 性別		701 外科的治療 施行日	
300 原発部位 《局在コード》		705 外科的治療 (開始前・他施設)	
309 原発部位 《テキスト》		706 外科的治療 (開始後・他施設)	
310 側性		710 鏡視下治療	
320 病理診断 《形態コード》		711 鏡視下治療 施行日	
329 病理診断 《テキスト》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)	
		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)	
		720 内視鏡的治療	
330 診断根拠		721 内視鏡的治療 施行日	
350 当該腫瘍初診日		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)	
360 他施設診断日		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)	
370 自施設診断日		730 観血的治療範囲	
380 診断日		740 放射線療法	
400 診断施設		741 放射線療法 施行日	
410 治療施設		745 放射線療法 (開始前・他施設)	
420 症例区分		746 放射線療法 (開始後・他施設)	
450 来院経路		750 化学療法	
460 発見経緯		751 化学療法 施行日	
470 病名告知の有無		755 化学療法 (開始前・他施設)	
		756 化学療法 (開始後・他施設)	
		760 内分泌療法	
		761 内分泌療法 施行日	
		765 内分泌療法 (開始前・他施設)	
		766 内分泌療法 (開始後・他施設)	
		770 その他の治療	
		775 その他の治療 (開始前・他施設)	
		776 その他の治療 (開始後・他施設)	
		780 経過観察選択	
		790 緩和的治療	
		510 UICC cT	
		520 UICC cN	
		530 UICC cM	
		540 UICC c 付加因子	
		500 UICC c ステージ	
		550 規約肝 c ステージ	
		610 UICC pT	
		620 UICC pN	
		630 UICC pM	
		640 UICC p 付加因子	
		600 UICC p ステージ	
		580 c 進展度	
		680 p 進展度	

<症例 4> 58 歳 男性

【現病歴】

2022 年 2 月に受診した人間ドックで胸部異常陰影を指摘され、精査目的に 3 月 25 日 E 病院受診。

E 病院にて 3 月 30 日胸部 CT を施行。「肺腺癌の疑い」で手術を勧められたが、自宅から近い自施設での治療を希望され、紹介となった。

【経 過】

2022 年 4 月 18 日 当院紹介受診。

2022 年 4 月 25 日 胸部 CT 施行。

左 S3 に充実成分径 40mm の腫瘤を認める。

左肺内・肺門、気管分岐部下に転移と考えるリンパ節腫大を複数認める。

2022 年 5 月 9 日 TBLB および擦過・洗浄細胞診施行。

2022 年 5 月 17 日 TBLB 結果「Adenocarcinoma」。擦過細胞診結果「adenocarcinoma」。

諸検査結果から、左肺上葉腺癌と診断。手術適応であること、術後化学療法を行うことを、本人と家族に説明。

2022 年 5 月 31 日 手術目的で入院。

2022 年 6 月 1 日 左上葉切除術施行。

2022 年 6 月 9 日 化学療法開始。

2022 年 6 月 15 日 経過良好にて退院。

≪手術 病理報告≫

Papillary adenocarcinoma, left upper lobe of lung

S3 の腫瘍は、腫瘍径 45×40×35mm、浸潤径 40mm。腫瘍細胞が肺胞内に乳頭状に増殖する乳頭状腺癌。それとは別に肺胞上皮を置換性に増殖する 20mm 径の腫瘍を認め上皮内腺癌と診断。断端陰性。

郭清リンパ節:3/13(#4 0/2、#7 1/3、#10 1/2、#11 0/2、#12 1/2、#13 0/2)

症例番号

採用ルール		多重がん判定		760 内分泌療法	
				761 内分泌療法 施行日	
【699】腫瘍情報テキストへのコメント				765 内分泌療法 (開始前・他施設)	
				766 内分泌療法 (開始後・他施設)	
				770 その他の治療	
110 重複番号		700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)	
140 性別		701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)	
300 原発部位 《局在コード》		705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択	
309 原発部位 《テキスト》		706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療	
310 側性		710 鏡視下治療			
320 病理診断 《形態コード》		711 鏡視下治療 施行日		510 UICC cT	
329 病理診断 《テキスト》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		520 UICC cN	
		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		530 UICC cM	
330 診断根拠		720 内視鏡的治療		540 UICC c 付加因子	
350 当該腫瘍初診日		721 内視鏡的治療 施行日		500 UICC c ステージ	
360 他施設診断日		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)			
370 自施設診断日		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
380 診断日		730 観血的治療範囲			
400 診断施設		740 放射線療法		610 UICC pT	
410 治療施設		741 放射線療法 施行日		620 UICC pN	
420 症例区分		745 放射線療法 (開始前・他施設)		630 UICC pM	
450 来院経路		746 放射線療法 (開始後・他施設)		640 UICC p 付加因子	
460 発見経緯		750 化学療法		600 UICC p ステージ	
470 病名告知の有無		751 化学療法 施行日			
		755 化学療法 (開始前・他施設)		580 c 進展度	
		756 化学療法 (開始後・他施設)		680 p 進展度	

症例番号

採用ルール		多重がん判定		760 内分泌療法	
				761 内分泌療法 施行日	
【699】腫瘍情報テキストへのコメント				765 内分泌療法 (開始前・他施設)	
				766 内分泌療法 (開始後・他施設)	
				770 その他の治療	
110 重複番号		700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)	
140 性別		701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)	
300 原発部位 《局在コード》		705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択	
309 原発部位 《テキスト》		706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療	
		710 鏡視下治療			
310 側性		711 鏡視下治療 施行日		510 UICC cT	
320 病理診断 《形態コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		520 UICC cN	
		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		530 UICC cM	
329 病理診断 《テキスト》		720 内視鏡的治療		540 UICC c 付加因子	
		721 内視鏡的治療 施行日		500 UICC c ステージ	
330 診断根拠		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		550 規約肝 c ステージ	
360 他施設診断日		730 観血的治療範囲			
370 自施設診断日		740 放射線療法		610 UICC pT	
380 診断日		741 放射線療法 施行日		620 UICC pN	
400 診断施設		745 放射線療法 (開始前・他施設)		630 UICC pM	
410 治療施設		746 放射線療法 (開始後・他施設)		640 UICC p 付加因子	
420 症例区分		750 化学療法		600 UICC p ステージ	
450 来院経路		751 化学療法 施行日			
460 発見経緯		755 化学療法 (開始前・他施設)		580 c 進展度	
470 病名告知の有無		756 化学療法 (開始後・他施設)		680 p 進展度	

<症例 5> 67 歳 男性

【現病歴】

胸部痛が続くため、2022 年 3 月 8 日 G 病院を受診。

3 月 12 日に胸部 CT を施行され、前縦隔に腫瘤を認めたため、精査目的に自施設紹介となった。

【経 過】

2022 年 3 月 23 日 当院初診。

2022 年 3 月 28 日 胸部 CT 施行。

前縦隔に 45mm 径の腫瘍を認める。腫瘍は周囲脂肪組織へ進展しており、縦隔胸膜へ接していることから浸潤していると考えられる。

2022 年 4 月 1 日 CT 検査より、胸腺腫と診断。手術を行う旨、本人・家族に説明。

2022 年 4 月 18 日 手術目的で入院

2022 年 4 月 19 日 拡大胸腺摘出術施行

2022 年 5 月 2 日 経過良好にて 退院。

＜病理報告＞

病理診断: Type B2 Thymoma

腫瘍は、5cm × 5.3cm × 3cm。内部は分葉状の構造を呈しており、大型で明るい核を持ち、核小体も多くみられる。一緒に切除されている縦隔胸膜に浸潤が見られ、肺上葉にも進展が見られた。

腫瘍は完全に切除されている。R0

郭清されたリンパ節に転移は認めない。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			

<症例 6> 60 歳 男性

【現病歴】

G 病院での人間ドック受診時に胸部異常陰影を指摘され、精査目的に 2022 年 4 月 5 日当院紹介受診。

【経 過】

2022 年 4 月 5 日 紹介初診。
2022 年 4 月 7 日 胸部 CT 検査施行。右胸膜の肥厚を認め、胸水の貯留も確認された。
胸膜中皮腫が疑われ、胸腔鏡検査が計画された。
2022 年 4 月 18 日 胸腔鏡検査施行。壁側胸膜、臓側胸膜いずれにも、白色小結節が多数認められた。画像上肥厚を認めた部分から生検施行。胸水採取も行った。
2022 年 4 月 28 日 病理結果は「悪性胸膜中皮腫」。
胸膜肺全摘術を施行し、術後化学療法を行う旨、本人と家族に説明。
2022 年 5 月 9 日 治療目的に入院。
2022 年 5 月 11 日 胸膜肺全摘術施行。
2022 年 5 月 23 日 CDDP+PEM 併用療法開始
2022 年 6 月 10 日 経過良好にて退院。

《病理報告 胸腔鏡下生検》

Epithelioid mesothelioma

中皮細胞の乳頭状の浸潤様増殖像が認められた。

免疫組織化学検査: Calretinin、CK5/6、WT-1 が陽性。TTF-1、CEA、Napsin A が陰性。

胸水細胞診: 陽性

《病理報告(手術)》

Diffuse malignant mesothelioma; Epithelioid mesothelioma

大小異なる異型中皮細胞の乳頭状、結節状の結節を認める。腫瘍は一部わずかに肺実質への進展がみられる。腫瘍は取り切れていると考える。

リンパ節への転移は認めない。

症例番号

110 重複番号		710 鏡視下治療		510 UICC cT	
140 性別		711 鏡視下治療 施行日		520 UICC cN	
300 原発部位 《局在コード》		715 鏡視下治療 (開始前・他施設)		530 UICC cM	
309 原発部位 《テキスト》		716 鏡視下治療 (開始後・他施設)		540 UICC c付加因子	
		720 内視鏡的治療		500 UICC cステージ	
		721 内視鏡的治療 施行日			
310 側性		725 内視鏡的治療 (開始前・他施設)		610 UICC pT	
320 病理診断 《形態コード》		726 内視鏡的治療 (開始後・他施設)		620 UICC pN	
329 病理診断 《テキスト》		730 観血的治療範囲		630 UICC pM	
		740 放射線療法		640 UICC p付加因子	
		741 放射線療法 施行日		600 UICC pステージ	
330 診断根拠		745 放射線療法 (開始前・他施設)			
350 当該腫瘍初診日		746 放射線療法 (開始後・他施設)		550 規約肝cステージ	
360 他施設診断日		750 化学療法			
370 自施設診断日		751 化学療法 施行日		580 c進展度	
380 診断日		755 化学療法 (開始前・他施設)		680 p進展度	
400 診断施設		756 化学療法 (開始後・他施設)			
410 治療施設		760 内分泌療法			
420 症例区分		761 内分泌療法 施行日			
450 来院経路		765 内分泌療法 (開始前・他施設)			
460 発見経緯		766 内分泌療法 (開始後・他施設)			
470 病名告知の有無		770 その他の治療			
700 外科的治療		775 その他の治療 (開始前・他施設)			
701 外科的治療 施行日		776 その他の治療 (開始後・他施設)			
705 外科的治療 (開始前・他施設)		780 経過観察選択			
706 外科的治療 (開始後・他施設)		790 緩和的治療			